

平成27年度 財政学習講座 アンケート(第1回)

1. この講座に参加しようと思ったのは、どのような理由からですか？

A:市の職員を目指しているので知識をつけたかった。

B:「君津市の財政が緊迫状況にある」と風聞で聞き及んだので—

C:今迄(5~6年間)、仕事一辺倒で周辺のことを全然みえていません。ほんの少しでも身近な事に注意を払い周囲に迷惑を掛けない老後を過ごす為に！

D:自分の市の財政について、知る義務があると考え、参加しました。税がどの様に使われているのかなどを知りたかった。

E:市の財政が知りたかった。

F:良い君津市になっていると思っていたが、消滅予測都市として挙げられたので、どうしたら良いか考えたいと思った。

G:以前から財政を読み解く力をつけたかった。

H:知らないではいられない状況と思って。

I:君津の10年、20年後のビジョンが見えてこないの。

J:市の人口が年々減少し、民生費が大きくなっていく環境に私達が何かやれることはないのかという思いからまずは勉強。

K:自分の住んでいるまちの状況を知りたかった。

L:市の財政が厳しいと言われているが実際はどうか知りたかった。

M:君津市の財政があぶないと言われている中で本当はどんな状況なのか知りたいと思いました。

N:決算書の見方を教わりたかったの。

O:君津の財政について知りたいと考えました。

P:昨年の講座に参加して分かりやすかったため。君津市の財政についてもっと知りたいと思ったため。

Q:自分の町を知るため。特に市財政の将来に危惧している。インフラ予算は？

R:君津市の財政の実態を知りたかった。

S:財政事情を正しく認識し、今後の街づくりの方向性を見出すため。

T:君津市の財政状態がどの様になっているか知りたかった。

U:市議員さんによって君津市の財政は十分に足りているとか、いや苦しいとかの話を聞きます。事実を知りたくて申し込みしました。

V:君津市の財政について知りたかった。

W:H20年度に君津中央公民館の家庭教育学級で、君津の教育財政を学ぶのにあたり当時最新のH18年度の君津の会計決算の財政比較分析表を見ながら「財政」自体を勉強しました。そもそも財政のしくみを知らない地域課題を正しく理解すること自体できないと思ったからです。その時、個人的に地方交付税と財政力指数についてもっと詳しく知りたいと思い、市の財政課に質問に行ったり、個人的に勉強したりし、その次の回で、皆にその内容を発表し、みんなで知識を共有して自分達でできることを考えました。当時は君津の財政力指数は1.15でした。そんな学びの後に改めて個々の事例を考えると見えてくるものが変わってきました。今、個人の家計にも市の財政にも共に余裕のなさを感じています。まずはきちんと知り自分が自分達が、各家庭の、そして君津市の、今と未来の担い手になれるように参加しました。

2. 今回ご参加していかがでしたか？感想をお書きください。

A: 財政を勉強する機会はあったが君津に限定して学んでみるととても興味深くおもしろかった。

B: 大変難しい内容に感じてます。勉強をしないとついていけない。

C: 私は数値に弱くて10%でも吸収できたかどうか疑わしい。

D: 君津市の現状を初めて理解できたこと。また特徴をつかめたことは、今後自分達が住んでいく中で重要なものになると思いました。

E: むずかしい内容だったが、歳入歳出の仕組み補助金等わからないことが少し理解できた。

F: 基本的なことがわかったので、次回以降が楽しみ。

G: 2回目だったのでわかりやすかった。

H: もっと勉強してこないと置いていかれそう。でも聞いていて楽しかったです。

J: 3月の復習ができてよく理解できた。

K: 大変有意義でした。

L: これから収入が減るのに民生費（扶助費）が確実に増える。これからの課題が分かった気がする。

M: 市の財政が現実的にとっても厳しい状況であることがよくわかりました。

N: わかりやすく面白かった。自分でも勉強してみたいと思った。

O: 財政の仕組みを知りました。

P: 少子高齢化が問題というのは分かっているものの、どうにか市の収入が大幅に増えることがないかな～と思います。簡単に解決策は出せないですね。

Q: 大概の実情のイメージは少し理解できた。今後とも興味をもっていく。

R: 自治体財政の仕組みについて大変よくわかりました。近隣市等他市との比較をして勉強してみようと思いました。

S: すばらしかった。理解できた。直近の国の方針を混ぜた講習出来たのが良かった。

T: 解りやすく興味ある内容であった。今後を楽しみにしている。

U: 君津市の収入・支出の内容がほぼ理解できました。

V: 財政状況がよくわかった。決算表の見方がよくわかった。

W: 目的別歳出の構成比率にしても各市によって産業構造も違うので、本当に「いちがいに何が良い」とは言えない中で、やはり大切なのは「君津にはこういう特徴があり住んでいる住民のニーズと、それが合致しているのか？また、どの位の水準を住民は求めているのか」をきちんと分析することだと改めて思いました。

3. 財政に関して今後とりあげて欲しい内容、詳しく知りたい内容はありますか？今後の運営の参考としますので、プログラム以外のリクエストでも構いません。

A: 先生の、君津がどうしていきべきかという考えを聞きたい（具体的なもので）

C: 参加希望したからには頑張ります。

D: 今後、君津市がどのような改革をしていかななくてはならないのか、実際の成功例などを含めて、勉強したいと思う。

E: 具体的な市の財政改革が知りたい。

G: 君津市をどうしていきのか、終わりにでもみんなで話し合ってみたいです。財政白書作ってみたいな

H: 学校の統合等は予算にどう関わってくるか？

O: 君津の将来展望

P:興味のある人が集まっているので、模擬事業仕分け等やってみるとおもしろいかと思います。

R:次回以降も参加させていただきます。

S:6 コース後に述べたい。

T:君津市の給与水準は高いと伺っているがどうか。人件費はどの位か（職員とアルバイト等を含めた数字）

U:富津市が苦しいと聞きます。どうしてそうなったのでしょうか。

V:施設を残す、残さないの判断基準は何か。あくまで市民の要望でよいのか。

W:H24 年度に-1.066 まで下がった君津市の実質単年度収支が H25 年度に 34 まで上がったのは市としてどういう対策を講じたのか？またその内容は市民にどのような影響が出たのか？それは私達のニーズやその水準に合ったものなのか？照らし合わせて学びたいです。勉強不足ですみません…。

4. その他、ご意見等があれば自由にお書きください。

D:次回も楽しみです。

E:住みよい町づくりの財政。市民がやるべきこと。市民への財政を正直にわかりやすく。

K:今回（6 回分）の学習を踏まえて市民としてどうすればよいか、何ができるかを考えていきたい。

M:諸々の状況で減収の現実のなか、支出を抑えるために行政に希望することを少しずつ減らす心がけて大きな節約に結びつけばと思います。

P:次回も楽しみにしています。

R:ありがとうございました。

S:特になし。

V:動画で配信されると市民のみなさんに市の財政状況が理解されると思う。

W:今回、財政講座を学ぶにあたって、その学びの必要性をととも感じています。それに伴って自分が必要としているこうした学びを行える公民館の必要性、職員のかたの必要性も強く感じています。考え方として今日の講義の発言で、普通建設事業費は支出した分蓄積されるが、人件費は支出したら残らないという言葉がありました。大切なのは、行政サービスでない教育費としての公民館の人件費をいかに『蓄積されるもの』にしていくかだと思いました。それには継続して学んでいる私達自身が学びを蓄積していきそれを発信し行動できるかだと思いました。